

応募締切: 2023年10月9日(月)

1. 学校・学科名 (学校名については複数の学校の混合チームの場合は全ての学校を記入してください。)

学校名	(フリガナ) マツヤマガッコウ	学科名
	まつやま学校	(青年会議 科)

2. 代表者 (高校生・中等教育学校生の応募の場合は、学校の担当教員のお名前をご記入ください。)

代表者氏名	(フリガナ) マツヤマ ハナコ	
	松山 花子	
連絡先	TEL: ●●●-●●●●-●●●●	MAIL: ○○○○○○○○○○@○○○○○

3. グループ名


グループ名 ※個人応募の場合は 個人名でもOK	(フリガナ) チームリモート
	チームリモート

4. グループ参加者

		(フリガナ)	(フリガナ)	学年
		姓	名	
①	リーダー	みかん	あまたろう	3年
		蜜柑	甘太郎	
②	メンバー	○○○○	○○○	○年
		○○	○○	
③	メンバー	○○○○	○○○	○年
		○○	○○	
④	メンバー	○○○○	○○○	○年
		○○	○○	
⑤	メンバー	○○○○	○○○	○年
		○○	○○	

5. チーム写真 (イラストでも可能です。グランプリ決勝会場に掲示します。)

※画像をこちらに添付してください。



はじめに

松山ビジスタコンテストは、若者が松山で働き甲斐のある仕事の発見と創出機運の向上を目的として開催されます。その為にいろいろなものを調査・研究し、「若者の考える働き甲斐のある職場」、「こんなビジネスがあれば松山の若者は元気になれる」等の若者ならではの多彩なアイデア詰め込んだプランを作成してください。皆さんの活力で松山を元気にできるビジネススタイルプランをお待ちしています。

1 ビジネススタイルプランのタイトル・概要

ビジネススタイルプランのタイトル

(フリガナ) リモートキンムセイド

リモート勤務制度

ビジネススタイルプランの概要

■内容■

私の働く会社では DX 化を積極的に推進し、PC があればどこでも勤務できる環境である中、リアル出社勤務を基本としつつも、家庭環境や居住環境により、働き方を選択できるリモート勤務制度を取り入れており、結婚、出産、育児、引越など自身のワークライフバランスに応じた勤務形態ができます。

■開催頻度

四半期に一度会社（上長）と面談して次四半期の勤務形態を決定

■その他

積極的にリモート勤務を取り入れられるよう、完全フルリモート勤務の場合は手当（月 10,000 円）が給与から支給され、自宅で働く環境を整える消耗品購入や通信費、水光熱費に使用することができるようになっています。（一部リモート勤務の場合も日割り計算で支給）

2 プランを思いついた背景(きっかけ)・目的

ビジネススタイルプランを思いついた背景(きっかけ)・目的

<背景>

大学に入学した頃は新型コロナウイルスがまん延していてフルリモートで授業に参加していた。本当はリアルに学校に行って楽しいキャンパスライフを過ごしたかったけど、逆にフルリモート授業だったおかげで、現在のリアル登校ももちろん悪くないけど、自宅と学校までの移動時間が無くなったり、実家に帰省中や自宅から少し離れた場所にいる場合にも授業に参加することができ、学校と生活、アルバイトなどメリハリある効率の良い時間を使えたことに生活が充実していました。

<目的>

仕事に専念し一日のワークライフバランスを効率よい時間を使える職場環境の実現。

3 商品・サービス・制度

①商品・サービス・制度の内容 ② 既存の商品・サービスとの違い、セールスポイント、どのように新たなビジネススタイルを実現するか

① 制度（勤務形態）内容

- ・完全リアル出社勤務
- ・完全フルリモート勤務
- ・一部リモート勤務（前営業日までに申請）

各社員の職種やスキル、生活環境を考慮し、柔軟な勤務形態が選択できる勤務形態が用意されています。

② セールスポイント、実現に向けた取り組み

新型コロナウイルスなどの外的要因で仕方なくリモート勤務になることではなく、リモート勤務を選択できる勤務形態とすることで、会社にとってもメリットが有り、従業員にとってもメリットが有るようなあらゆるベネフィットを生み出します。

リモート勤務が難しい職種や環境はあるものの、今までリアルでなければならなかった業務を DX 化することでリモート勤務が多くのスタッフが導入できる環境を実現します。

・ペーパーレス

見積書、請求書、契約書など今まで出力し、郵送が必要だったものを全てペーパーレスにし、会社に出社しなればできなかった業務をなくします

・オンラインチャットツールの導入

リアルでの会話や電話での指示などは非効率であるため、Slack や Chatwork などオンラインで気軽にコミュニケーションが図れ、タスク管理や案件進行などがグループで可視化できるツールを導入し、いつでもどこにいても業務推進が図れる環境を整備します

・リアルタイム更新が可能なスケジュール共有

これまで外出や出張、商談や mtg などは常に会社のホワイトボードに記入する文化でその記載がないと行動を把握できなかったものを、オンラインで組織共有できるスケジュール機能を導入することで、スピード感あるスケジュール把握や共有を可能とします

・勤怠、稟議、各申請もオンラインで

グループウェアの導入で、リアルでタイムカードを打刻するしかなかった勤怠を DX 化することで、フルリモート勤務に対応します。また、物品購入稟議や経費精算、休暇、残業などの各申請も紙ベースで行わず、オンラインで承認を行いデータとして残すことで、どこからでも申請ができる環境を整えます

・mtg は基本オンライン

Zoom などのオンラインビデオツールを取り入れ、出社せずとも社内 mtg や商談を行える環境を整えます。

・データ管理もオンラインに

Excel や Word など経営に必要な情報は社内 LAN 上でしかアクセスできないサーバ上に保管されていたものをセキュアなクラウド（アクセス制限かけられる）に全て移管することで、リアル・リモート問わずどこからでもアクセスできます。また、オンライン上で更新したデータはリアルタイムに更新できるツールにすることで、これまで各ローカルで各々が更新していたデータや情報を常に可視化できるようにします。

このように、DX化を進めることで、これまでリモート勤務を導入するのに弊害があったことを排除していき、リモート環境での勤務形態を整えていくだけでなく、業務効率化や経費削減にも大きく繋がってくるようにしていきます。

4 企業としてのメリット(その商品やサービスを導入する企業のメリット)

3を導入した企業や従業員にどのようなメリットがあるか

- <従業員のメリット>
- ・ワークライフバランスを重視した勤務が送れる
 - ・結婚、出社、育児など家庭環境の変化にも会社を辞めずに勤務を続けられる
- <企業のメリット>
- ・社員のやる気向上、不満が軽減され、離職率の低下が望める
 - ・リモート勤務を取り入れることによる商圏の拡大（オンライン商談が身近に）
 - ・従業員増加に伴うオフィス拡張の必要性がなくなる
 - ・交通費などの定期代やガソリン代の削減
 - ・DX化を進めることによる業務効率化、働き方改革への実現（残業の抑制）
 - ・エリア外人材の採用（県外などに居住する優秀なスタッフの採用）
- など

5 松山の経営資源

松山ならではの経営資源(ヒト、モノ、技術・ノウハウ)

《ポイント》 商品・サービスを実現化するためには、どのようなヒト、モノ、技術・ノウハウが必要か考えてみましょう。

- ・リモート勤務を積極的に取り入れている松山のIT企業などへのヒアリング
- ・社員のITリテラシーの向上を図るためのセミナーへの参加
- ・DX推進を行っている役所の助成支援や、コンサルからのコンサルティング

6 調査、ヒアリング結果(任意)

《ポイント》 商品・サービス、必要な経営資源等、若者のニーズなどについて、調査したこと、事業されている方などに聞いてみたことを、記入してください。

- 【リモート勤務実態調査】
- [令和4年度「テレワーク人口実態調査」\(国交省\)](#)
- 【テレワークの現状】
- [テレワークを巡る現状について](#)
- 【個人向けリモート勤務調査】
- [個人向けアンケートで見るテレワークの実情](#)